

令和3年度 大分県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業
最低賃金専門部会

- 1 日時 令和3年10月13日（水）午前10時～
- 2 場所 大分第2ソフィアプラザビル 4階会議室
（大分市東春日町17番20号）
- 3 出席委員（敬称略）
公益代表：城戸 照子、下田 憲雄
労働者代表：石本 健二、松下 正芳、山田 功一
使用者代表：石井 四郎、藤野 久信
大分労働局：中井 労働基準部長、幡手 賃金室長、柳井 賃金主任
- 4 議 題
（1）金額審議について
（2）その他
- 5 議事要旨
（1）金額審議について
ア 事務局より資料の説明を行ったのち、協議を開始した。
イ 協議方式について
公労使が別室に分かれ、労使が個別に公益と協議し、金額審議を進めていき、その後全委員が集まり意見集約する方法とした。
ウ 協議要旨
労側委員からは、電気産業は日本における主要産業であり地方経済の重要な役割を担っていること、社会のデジタル化に期待が高まるとともに第4次産業革命と呼ばれるビックデータ・ロボット・人工知能などの発展により情報産業の需要拡大が見込まれること、鉱工業指数の生産・生産出荷は全体として回復しており電子、デバイス工業の生

産は高水準で推移していることなどの説明を踏まえた上で金額提示があった。

使側委員からは、半導体産業は好調である一方半導体以外の製品を製造する中小零細企業の経営環境は厳しい状況であること、物価自体は上昇しているが電気機械器具の製品単価は据え置かれていること、賃金実態調査結果の未満率が 10.1%と高い数値となっていることなどの説明を踏まえた上で金額提示があった。

エ 協議結果

意見の隔たりが大きく結論をまとめるまでには至らなかった。

(2) その他

次回の専門部会は、10月20日(水)午前9時30分から開催することとなった。